

1 研究内容

当研究室では、「人間の知的な動作」および「マンマシンインタフェース」に焦点を当て、個々の学生が興味を持った独自の研究テーマも予定しています。なお、Web (<http://we-www.is.konan-u.ac.jp/Welcome.html>) に、過去の卒業論文や修士論文の題目を掲載しています。

2 当研究室に在籍する人へ

2.1 3年生へ

「知能情報学セミナー」では、下記のことを到達目標としています。

- Mac における開発環境に慣れる，
- (読む/書く/話す) 能力を向上させる，
- 卒業研究の方向性を明確にする．テーマの選定にあたっては、「興味を持った内容」に加え、「このような場面で社会に役立つ」ことも考慮して下さい．
- 1月上旬：選定したテーマに関して、レジメを作成し、発表を行います．

2.2 4年生へ

2.2.1 進捗報告 (一定の頻度で行います)

- 当日中に、指摘あるいは質問されたことを明確にして下さい．次回の報告日に、対処や回答を具体的に報告して下さい．
- 細かいことでも結構ですので、質問や問題があれば速やかに相談して下さい．
- 就職活動で欠席せざるを得ない場合は、事前に連絡して下さい．必ず、他の時間帯に recovery して下さい．

2.2.2 スケジュールについて

- 6月上旬：研究目的の明確化を行います。
- 8月上旬：他大学と合同で中間発表を行います。
- 12月下旬：卒業論文を完成します。
- 1月上旬：レジメを完成します。
- 1月中旬：発表用資料を完成します。発表練習を行います。
- 1月下旬：学部としての発表会が行われます。

2.3 大学院生へ

- 問題解決/問題発掘能力の修得，先行研究の把握，
- 発表 (国内会議 [必修]，国際会議 [可能ならば])，

2.4 気を付けなければいけないこと

2.4.1 アカデミックハラスメント

- 厳しい指導が「アカデミックハラスメント」を引き起こしてしまう可能性があります。本学の Web (http://www.konan-u.ac.jp/campus_harassment/#case01-2) を読んでおいて下さい。相互に注意しましょう (注意します)。

2.4.2 研究を進める上で「まずいなあ」と思ったケース

- 対処の過程で生じた疑問や問題を先送りにする。
 - (結果) 重要な項目であるにもかかわらず，卒業論文から欠落する。
 - (防止策) 嫌なことから着手する。
- 真面目に独力で解決しようとする。
 - (結果) 10月頃になって，解決できない課題が山積し，八方塞がりとなる。
 - (防止策) 答えを見つけようとせずに，研究室の仲間や教員に相談する。

2016年4月
渡邊 栄治